

事業評価票（情報システム関係予算）

39	救急医療情報システム（東京消防庁総務部）	運用開始	平成 2 年度						
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> 都内にある各救急病院で、入力画面から診療可能な科目を入力することにより、総合指令室、消防署、救急車内、各救急医療機関相互において、診療可能状況をリアルタイムに検索・閲覧できるシステムである。 								
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省所管の全国広域災害救急医療情報システムとは災害時情報の同期をとっているため、同システムの運用及び構成の変更に伴い、災害時情報の連携、診療可能状況のリアルタイム検索及び閲覧への影響を調査する必要がある。 								
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> システムを安定稼働するための運用経費等を計上する。 また、厚生労働省のシステム変更後も、引き続き本システムの安定稼働を図れるよう、必要な調査・調整を行う。 <p>【平成28年度見積事項】 運用経費等</p>								
	28年度見積額	165 百万円	27年度予算額	165 百万円	26年度決算額	164 百万円			
行政改革推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> 運用経費等については、契約実績を踏まえており、妥当である。 					妥当	見直し	見送り	
						28年度所要額		165 百万円	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 上記評価に同じ。 					妥当	見直し		
						見送り		その他	
						28年度予算額		165 百万円	
40	総合情報処理システム（東京消防庁総務部）	運用開始	平成 26 年度						
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> 予防、水利、消防団、救急・災害統計、人事等の19システムで構成されており、消防行政推進に必要な事務システムである。 								
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 本システムは平成26年度末に機器更新を行ったところであるが、各事務システムを効果的に活用するためには、法令の改正、社会情勢の変化及び事務効率の向上等時勢に合わせた改善を随時実施していく必要がある。 								
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> システムを安定稼働するための機器賃借経費、運用経費等を計上する。 機器賃借経費及び運用支援委託経費については、契約実績を踏まえた精査を行い、経費の見直しを行っている。 制度改正に適切に対応するため、一部のシステムの改修を行う。 水利情報管理システムにおいて、新たにデータ管理機能を構築し、事務効率の向上を図る。 職員増員に伴い必要となる事務端末を増設する。 <p>【平成28年度見積事項】 機器賃借経費、運用経費等、システム改修経費等</p>								
	28年度見積額	1,695 百万円	27年度予算額	1,713 百万円	26年度決算額	1,553 百万円			
行政改革推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> 機器賃借経費及び運用経費等については、実績に基づき積算されており、妥当である。 制度改正や業務効率化に伴うシステム改修に係る経費については、作業内容に基づき積算されており、妥当である。 職員増員に伴う事務端末等の整備の経費については、実績を踏まえた見直しを要する。 					妥当	見直し	見送り	
						28年度所要額		1,692 百万円	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 上記評価に同じ。 					妥当		見直し	
						見送り		その他	
						28年度予算額		1,692 百万円	